

# 迎春

学校法人 玉手山学園

認定こども園

関西女子短期大学附属幼稚園

幼稚園報

# めばえ キラ☆キラ



2023年(令和5年)1月11日発行

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘 3-11-1

TEL072-977-0602 / FAX072-977-9939

<http://www.kwck.ed.jp/>

発行者 中村 斉子

印刷 有限会社西口印刷

No.46

## 新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

今年(うさぎ)は卯(うさぎ)年です。卯年にはうさぎが跳躍する姿から「飛躍」と「向上」、また新しいことに挑戦する最適な年とされています。まさに、子どもたちや私たち教職員にとつて更なる飛躍を期待する年になるのではと考えています。



昨年は、コロナ制限の生活が少しずつ緩和される中、教職員がどのようにしたら子どもたちがもっと楽しめるのかを常に検討し、一緒に各行事を進めてまいり

園長 中村 斉子

ました。そして一緒に達成感を味わえたことはとてもうれしく感じます。

今年も教職員がひとりひとり、の資質をさらに向上して、子どもたちにとつてどうしていくべきかを話し合い共に力を合わせて保育を進めていきたいと思ひます。

保護者の皆様、平素から本園の幼稚園教育にご理解とご協力を賜りありがとうございます。本年も引き続き子どもたちの健やかな成長のために保護者の皆様とともに進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

## ステップアップ

新年あけましておめでとうございます。



今学期も残すところあと三ヶ月となりました。一学期、二学期と様々な行事を教職員一同子どもたちと一緒に、過ごしてきました。

主任 福家 美代子

満足感が得られ、また悔しかった気持ちは「次こそは！」と奮起する気持ちへとつなげ、自分への期待となり、成長の次なるステップになることでしょう。

ちと一緒、協力しながら計画し、保育を進めました。そして主役となる子どもたちの力はいつも100%！行事終了後は、無限大の達成感と満足感が得られ、それが学びや成長につながっています。様々な行事を体験し、

新たな一日一日が子どもたちにとって職員にとつても新しい自分に出会うステップになるために、改めて、教職員一丸となって、子どもたちと笑い、楽しみながら幼稚園生活を過ごせる環境を整え、心も身体も大きくなっていく子どもたちの姿を大切に見守っていききたいと思ひます。

# すこやかな成長を願って

## ★子どもたちのために



副主任 松本敦司

コロナ禍にな  
り、早くも三年  
目に入ろうとし  
ています。

その時々で求め  
られることが変わる中、職員一同  
も模索しながら対応をして参りま  
した。子どもたち、保護者の皆様  
の協力のもと、ここまで乗り越え  
て来られたことに感謝の気持ちで  
いっぱいです

今年度、行事の中で大きく変わっ  
た事は、運動会と作品展です。昨年  
までは、対策の一環として学年ごと  
に分かれて実施していました。  
今年はい前のように、子ども達  
が他の学年の頑張っている姿を見  
て、お互いの成長につながってほ  
しい。また保護者の方にもお子様  
の姿だけでなく、学年を超えた子  
ども同士の頑張りを見てほしく、  
今年はい従来通りに全学年が一緒  
になり実施いたしました。やはり、  
子ども達全員参加で実施できたこ  
とで、盛り上がりはもちろんの事、  
みんなの気持ちも一つになり、か  
けがえのない感動が生まれ、子ど

もたちの達成感も大きく感じられ  
たことと思います。

作品展に関しても同様に、作品  
を見て頂ける範囲を従来通りに戻  
すことができ、子ども達は、たく  
さんの刺激を受け、次年度に意欲  
を持ち有意義な時間になったかと  
思います。

完全に従来通りの生活を送るに  
は、まだまだ時間が必要かもしれ  
ません。

これまで以上に積極的にコミュ  
ニケーションをとり、身体をしつ  
かり動かしたりしながら、それら  
を少しでも和らげられるように、  
取り組んで行きたいと思っており  
ます。

今後にも必要な感染対策を取り、  
直に触れて見て感じられる直接的  
な関わりや経験を大切に、日々  
の保育・行事を通じて、今の年齢  
で感じ経験して欲しいことを、遊  
びを通じて学んでいけるよう教職  
員一同努力してまいります。また  
本来の子どもたちのあるべき生活  
に一日も早く戻れるよう心より願  
っています。

# 卒業生登場★

## 葵新体操クラブ卒園生

### インタビュー

第二十二回新体操クラブ

団体選手権チャイルドの部優勝

杉本 瑠璃さん 清水悠伊那さん

第四十七回大阪新体操選手権大会

六年生の部優勝 杉本 瑠璃さん

四年生の部優勝 清水悠伊那さん

「新体操を始めたきっかけは何ですか？」

杉本さん…身体を動かすことが好きで  
何かないかと思っていた。ボール遊びが  
苦手なボールを使った課外をしようと  
思って新体操を習い始めました。

清水さん…姉が習っていて楽しそうだっ  
たのもあるし、母が新体操を教える先生  
だったので、小さいころから身近に新体  
操があって上手になつて褒められたく  
て始めていました。

「新体操をしていて楽しいと感じるときは  
どんな時ですか？」

杉本さん…大会で優勝した時です。あと  
出来なかった動きができるようになった  
時です。

清水さん…杉本さんと同じです。

「逆に変えたいときはどんな時ですか？」

杉本さん…苦手な手具(種目)の大会に  
出ないといけないときです。

清水さん…苦手なことに挑戦してい  
けど、出来なくて怒られるとき。

「さっきハールを見せてもらったけど、  
それぞれ得意な種目は何ですか？」

杉本さん…私はフープです。

清水さん…私はアクロバットが得意です。

「将来の夢や目標は何ですか？」

杉本さん…小学生で全国大会で優勝で  
きたので、中学、高校になつても全国で  
優勝できるように頑張りたいです。

清水さん…喜田純鈴選手というオリ  
ンピックに出ている選手がいて、つま先  
の動きがとてもきれいなのでその選手  
みたいになりたいです。

「新体操に興味のある園児にメッセージは  
ありますか？」

杉本さん、清水さん…やっていくうちに  
人生に目標を持って取り組めるように  
なるし、やってみたら性格も積極的  
になつて変わっていくし、出来ないこと  
を出るようになる気持ちが持てるよ  
うになりました。



左から清水さん、杉本さん



★柏原市立旭ヶ丘小学校

富岡 和代校長先生

インタビュー



来年度から小学生になる青組さんと保護者の皆様、入学にあたり保護者の皆様

も大きな喜びと期待、さまざまな不安もあるかと思ます。

今回は幼稚園近くの旭ヶ丘小学校を紹介します。私たちの質問に富岡和代校長先生は、明るく親しみやすい話し方で答えてくださいました。

【質問】 ひらがなやカタカナなどの基礎学習は、入学前までにしていただく方がいいですか？

【答え】 ・一から小学校で学ぶので急いでさせることはないです。

・勉強を学ぶ前の過程で、絵本と一緒に読むことなどの文字に対して興味を持続させておいてほしいです。

【質問】 小学校と幼稚園との大きな違いはどういった所ですか？

【答え】 ・机に四十五分間座る。

・送迎がないことなど自分自身でしなければならぬことが増えます。

校長先生が子どもをスポンジに例えて話をして下さったことが心に残りました。親が思う以上に、子どもは日常の家庭での声かけや生活経験を吸収しているそうです。

校長先生のお話を聞いて日常生活で様々な経験をさせてあげたいと思います。

お忙しい中貴重な機会を設けて頂きありがとうございます。



保護者会役員

- 藤井 愛
- 植田 美絵
- 中谷 宏美

左より、植田美絵、藤井愛、富岡和代校長先生、中谷宏美

# がんばったね! たのしかった運動会!

# 運動会



## 赤組 年中

### ★おまつり ワッショイ



遊戯では宮太鼓の音に合わせてびぎりの笑顔で子ども達が入場してきました。初めて曲を聞いた時から「おもしろいうただね」おまつりみたい」と大喜びしていました。ひとり、ひとりリズムののって身体を大きく動かしながら、赤組のお祭りの始まり。しやもじの音色を響かせワッショイ、ワッショイ、みんなと一緒に力を合わせて頑張りました。

かけっこではゴール目指して元気いっぱい走れる体力がつき「こんどはもっとはやくはしるよ」と一生懸命に走る姿にたくましさを感じました。これからも最後まであきらめず頑張る気持ちをもってほしいと思います。保護者の方には暖かい応援、ありがとうございます。

赤組学年主任 平岡 教子

みんなで力を合わせて頑張るぞ! ヤー!



## 青組 年長

### ★できっこないをやらなくちゃ!



心配されていたお天気も子どもたちが運動会をしたいという強いパワーが空にも届き、楽しみにしていた運動会を無事開催することができました。

青組 曾家 くるみ

「できっこないをやらなくちゃ!」を学年のスローガンにあげ、青組みんなで力を合わせて取り組んできた運動会。リレーでは、どうすれば速く走れるのかをクラスで何度も話し合ったり、組み立て体操では、毎日友だちと力を合わせたりと、みんな一つになって一生懸命に取り組んでいました。友だち同士で「できる! だいじょうぶ!」と声を掛け合っている姿がたくさん見られ成長を感じました。当日、楽しんで参加している子どもたちの姿はキラキラと輝いていて、私たちもホッと嬉しい気持ちになりました。



元気な声でワッショイ!

年少

# 桃組

## ★お尻フリフリ踊りだす

桃組 担任 楠本 愛



子どもたちは元氣  
いっぱい登園し、運動  
会が行われました。

一学期から練習し

たかけっこはドキドキしながらゴールを目指し、遊戯は、クラスカラーの手ポンポンを両手につけ、お尻をフリフリと踊り、可愛い姿を見せてくれました。

広いグラウンドでたくさんさんの保護者・観客の中での本番に緊張した様子もありましたが、会場全体が温かい雰囲気子どもたちを応援して頂き、嬉しそうな笑顔がいっぱいでした。

本番までの練習や運動会当日を通して、自信に繋がったことと思います。これからも子どもたちのチャレンジする気持ちを大切に、成長を楽しみにしていきたいと思っています。

## ペンギンサンダー♪



## ひよこ組

満3歳児

## ★はじめての運動会

ひよこ組 担任 畑段 光



子どもたちが楽しみにしていた運動会が令和四年十月九日(日)に行われました。

当日はたくさんのお客さんに見守られ、少し緊張する様子も見られましたが、運動会が始まり入場し始めると、お家の人を見つけ、嬉しそうな笑顔で手を振る姿が微笑ましかったです。ゴールまで一生懸命に走ったかけっこ、「ペンギンサンダー」と小さい身体を大きく動かしながら楽しく踊った遊戯、赤組の友達と一緒に踊ったダンス、どの競技も楽しんで参加し、かわいい笑顔をたくさん見せてくれました。

毎月、新入園児が入ってくるひよこ組ですが、運動会を通して、一人ひとりの成長を少しでも感じてもらえたのではないかなと思います。



みんなでフリフリ♪

## 乳児

# ★運動会★

## ★まったたまった運動会♪

ちゅーりっぷ組 担任 杉岡 朋



令和四年十月二十二日(土)学園総合体育館で乳児棟の運動会が行われました。春から遊びを通していろいろなことを経験してきた子どもたちは、一人ひとり自分らしく成長してきています。ありのままの姿をしっかりと認められ、受け止められている子どもたちが、伸びびと表現する姿は本当に微笑ましいです。当日は、保護者の方に会いたくて泣いてしまうこともありましたが、ミックスマジックの音楽に合わせて膝をピョコピョコさせて踊ったり、おさるさんやペンギンさんにご飯を「どうぞ!」とあげたりする姿はともかわいらしかったです。

この時期の日々の成長は、間近で見ている私たちも毎日驚くことがいっぱいです。その貴重な瞬間を、保護者の方と一緒に感動したり共有したりできる毎日に感謝しながら、これからもみんなが心も身体も大きくなっていききたいと思います。

ながら、これからもみんなが心も身体も大きくなっていききたいと思います。

## 2歳児

こすもすぐみ

## 1歳児

ちゅーりっぷぐみ

## 0歳児

たんぽぽぐみ



# ★みんなの想いが 詰まった作品展

絵画担当 浅野 友希



令和四年十一月二十三日  
日に作品展が行われました。  
た。各ご家庭から集まった材料などを見て、「〇〇を作りたいからこれにしよう!」「見て見て! 繋げてみたらこんな形になったよ!」などと遊びを展開させながら、自分で作りたいものを考えて作品作りに取りかかっていました。

ポンドやのり、セロハンテープなどで接着方法を考え、材料の組み合わせを工夫しながら夢中になって作る姿が見られました。また、体中絵の具だらけになりながらも自分のイメージするままに好きな色や画材を選び、伸び伸びと描く姿はとてもいきいきとして楽しそうでした。そして、一人ひとりの想いが詰まった世界にたった一つだけの素敵な作品や絵が出来上がりました。

作品展当日、今年度は感染対策をしながら他クラスの観賞も可能となり、たくさんの方に子どもたちの作品や絵を見もらうことができました。お家の人と一緒に登園し、「これ作ったよ!」「こうやって作ったの!」と嬉しそうに話したり、友達の作品を紹介したりと子どもたちの姿はとても輝いて見えました。「すごいね! 頑張ったね!」とお家の方に褒めてもらい、少し照れながらも喜んでいく姿が微笑ましく印象的でした。

最後になりましたが、保護者の皆様には材料集めにご協力いただきまして本当にありがとうございました。



# 作★品★展

青(年長) 赤(年中) 桃(年少) ひよこ(満3歳児)

乳児

# 作品展

十三日（水）に保護者の皆様に見ていただきました。  
 最初は絵の具が手に付くと泣いたり泣いたりペンやクレヨンが思い通りに持てなかつたりすることがありましたが、最近では「かけたよ」「もつとやりたい」と伝えてくれることが増え、楽しみながら取り組んでいる姿がみられます。  
 作品展では「これ作ったの？」と保護者の方に聞かれると嬉しそうにニコッと笑ったり、自分の作品を探して教えていたりする子どもたちでした。廃材集めにご協力いただき、誠にありがとうございました。



今まで製作した作品を令和四年十一月二  
 月から絵の具やクレヨン、シール貼  
 りなど様々な製作活動にチャレンジしな  
 がら作品を作り上げてきた子どもたち。

ちゅーりっぷ組 担任 大塚 巳那子

## ★楽しかったね！作品展

2歳児

こすもすぐみ

1歳児

ちゅーりっぷぐみ

0歳児

たんぽぽぐみ



# 園を飛び出し 園外保育 ドキドキワクワク

海遊館



青(年長)

大きなジンベイザメ  
みつけた！

ビッグバン



赤(年中)

大きな歯たね～！

桃(年少)



檀原神宮

どんぐり  
みつけた！

芋掘り遠足



こすもす(2歳児)

大きなお芋  
みつけた！

ひよこ(満3歳児)



みかん狩遠足

大きなみかん  
おいしいね！

# 表彰

## 第七十二回子ども二科展

令和四年十一月十二日に第七十二回、子ども二科展の表彰式が兵庫県尼崎市の総合文化センターで行われました。今年度は十一名の子どもたちが入選し、表彰式には十名が参加しました。

名前を呼ばれ、順番に表彰状を受け取りに行く子どもたちは、いつもと違ったドキドキの表情でしたが、無事に受け取り美術館でると、いつも通りの安心した表情になり、表彰状を誇らしげに眺めていました。

今回の経験は子どもたちにとって自信に繋がる大きな経験になったことと思います。



二科展入選者  
(総合文化センターにて)

## ★株式会社マルワ

豊福 弥月



私たちが給食室では給食が苦手な子にも少しでもたくさん食べてもらえよう、できるだけ家庭の味を目指すしています。また、食べ物や食べることへ興味、関心をもってもらえるよう行事食の際はごはんで作って、目でも楽しいものを作っています。十月にはハロウィンクッキーの型抜き体験も行いました。

これからも食を通して少しでもみんなの成長のお役にたてるよう頑張りたいと思います。



# 給食

## パシャッ!



みんなでつがしたお茶  
おいしいね!



えい! 入るかな~!



一緒に遊びの  
楽しいね♪

おはなし  
はじまるよ~!



ゆきだるまさん  
み~つけた!



つがてのおもち  
おいしろう!!

## 編集後記

新年の幕開け、静かだった園内も子どもたちのキラキラした笑顔とウキウキした表情や声であふれています。今年もたくさんの子どもの姿を本誌を通して届けたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましても幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

広報部 幼稚園 運営委員  
保護者会 広報委員  
写真協力 ストーリーテラー株式会社